

高知市上下水道事業経営審議会

(令和5年度 第1回審議会資料)

令和4年度の決算状況等について

令和5年11月28日

高知市上下水道局

水道事業の決算状況等

経営戦略における経営目標について

水道事業における計画期間最終年度の令和13(2031)年度に目指すべき「経営目標」として、下の3点を定めています。

- ①当年度純利益の継続
- ②企業債残高の抑制
(「給水人口1人当たりの企業債残高」を10万円以下に抑制)
- ③事業運営資金等の確保(保有目標60億円)

令和4年度決算では、全ての目標を達成しています。



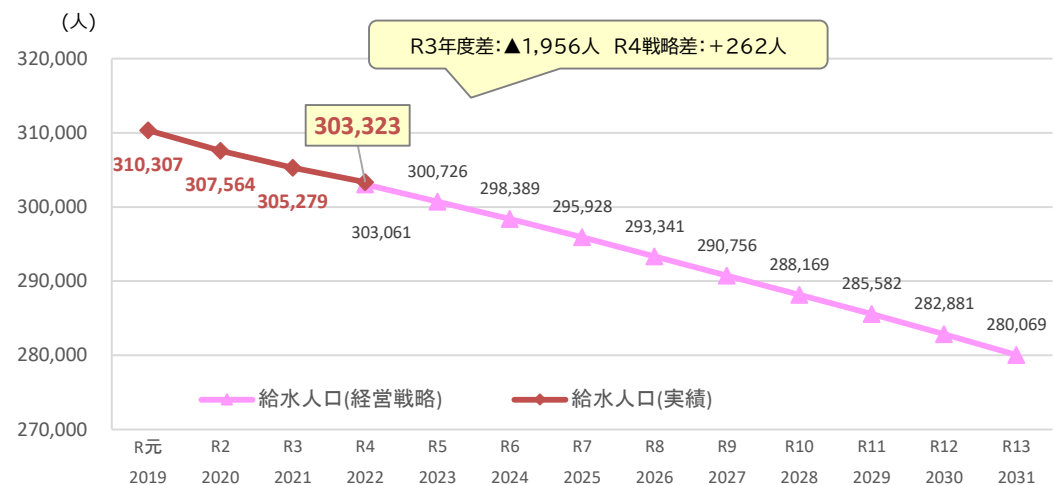
(消費税及び地方消費税抜き; 単位: 千円)

経営目標	令和元年度 決算	令和2年度 決算	令和3年度 決算B	令和4年度 決算A	前年度差 A-B	令和4年度 経営戦略C	戦略差 A-C	備考
純利益	1,153,842	1,171,626	1,270,430	① 1,053,341	▲ 217,089	489,487	563,854	※純利益を継続 R4戦略差では5.6億円の増益
企業債残高(有利子負債)	30,401,840	29,357,959	28,681,232	27,903,617	▲ 777,615	28,739,214	▲ 835,597	※企業債残高の抑制 借入利率の状況から借入額の調整も実施
給水人口(人)	310,307	307,564	305,279	303,323	▲ 1,956	303,061	262	
給水人口1人当たり	98.0	95.5	94.0	② 92.0	▲ 2.0	94.8	▲ 2.8	
補てん財源残高	11,370,638	11,595,545	12,071,640	③ 10,611,181	▲ 1,460,459	9,126,352	1,484,829	※事業運営資金等の確保

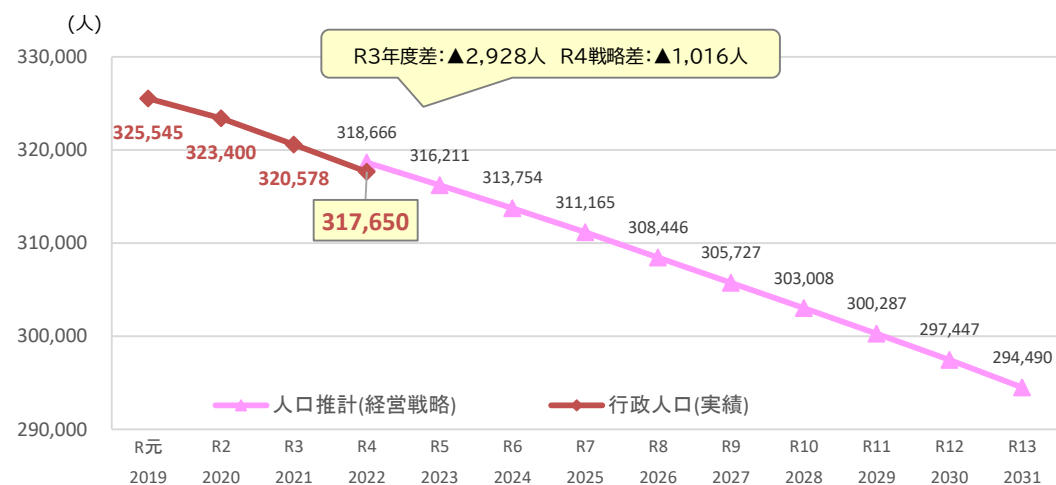
水道事業の決算状況等

給水人口等について

給水人口



行政人口



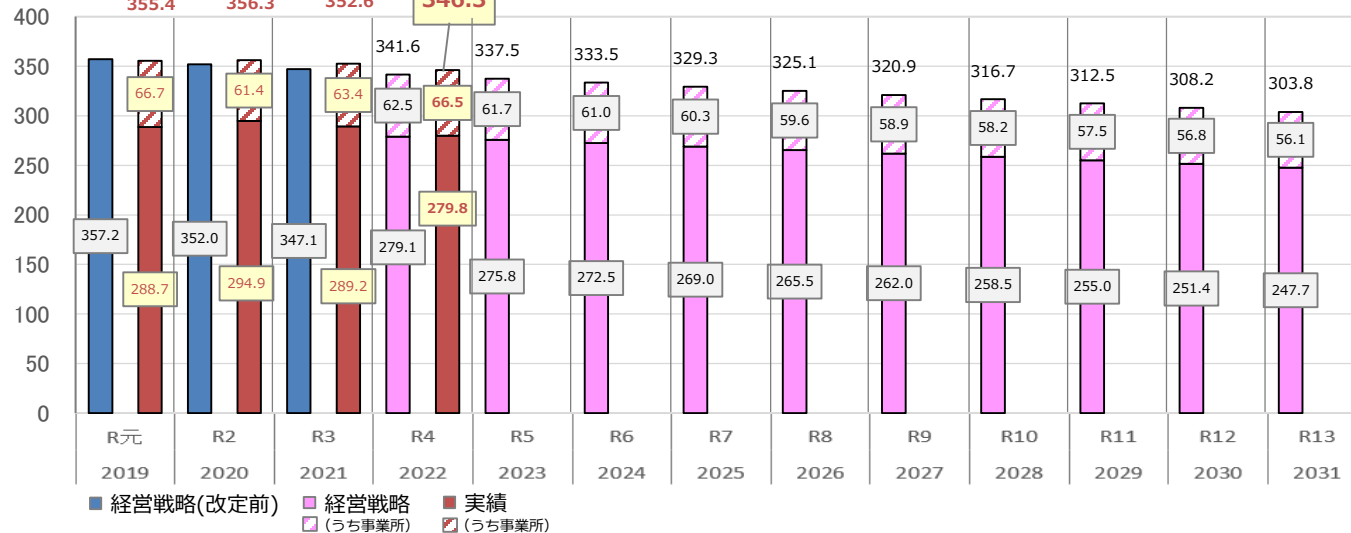
水道事業の決算状況等

有収水量等について

有収水量

R3年度差: ▲632,152m³ R4戦略差: +473,480m³

(単位: 十万m³)

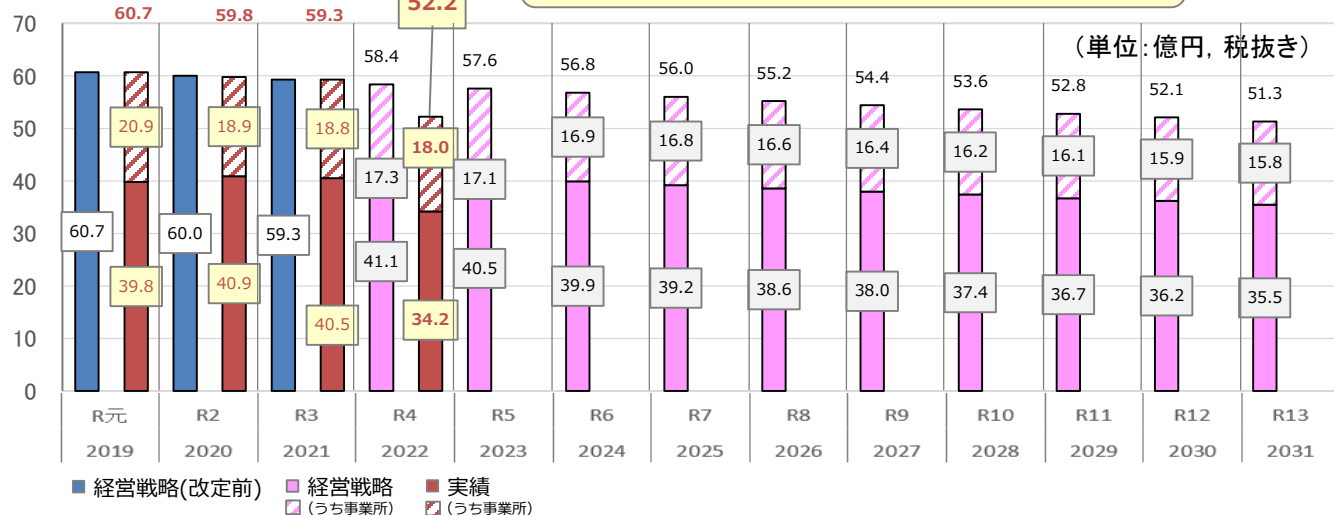


一般家庭では、令和2年度は新型コロナウイルス感染症で増加していたが、それ以降は人口減少等の影響から減少し、令和4年度は過去4か年で最少となった。

事業所等では、国の緊急事態宣言等の影響を受けて減少していた令和2年度・3年度より増加しているが元年度は下回っている。
(給水人口: 令和4年度対前年比 ▲1,956人)

料金収入

R4は水道料金の基本料金の減免を実施(減免なしの場合58.5億円)
参考: R3年度差: ▲713,679千円(減免なしの場合: ▲87,601千円)



令和4年度は、国の地方創生臨時交付金を活用し、コロナ禍において物価高騰の影響を受けている市民生活を支援するため、**水道料金の基本料金の減免を実施**
減免を実施しなかった場合の料金収入58.5億円
(減免額: 約6.3億円は、国の地方創生臨時交付金を原資に一般会計が繰出金で負担)

水道事業の決算状況等

損益計算書について

単年度の経営状況を表す「損益計算書」では、

【前年度比較】

・純利益は、2億1,700万円余り減少するも、10億5,300万円余りの黒字を確保

【参考】

・経営戦略比較では純利益で、4億8,900万円余りの見通しに対し、5億6,300万円余りの増益

(消費税及び地方消費税抜き; 単位:千円)

	令和元年度 決算	令和2年度 決算	令和3年度 決算B	令和4年度 決算A	前年度差 A-B	令和4年度 経営戦略C	戦略差 A-C	備考
総収益	6,661,794	6,577,539	6,534,236	6,536,510	2,274	6,507,573	28,937	
営業収益	6,123,310	6,016,368	5,983,788	5,981,429	▲ 2,359	5,932,766	48,663	
営業外収益	538,335	560,809	550,040	554,977	4,937	574,707	▲ 19,730	
特別利益	149	362	408	104	▲ 304	100	4	
総費用	5,507,952	5,405,913	5,263,806	5,483,169	219,363	6,018,086	▲ 534,917	
営業費用	5,009,180	4,957,470	4,835,296	5,070,802	235,506	5,631,053	▲ 560,251	※R4戦略差: 人件費, 減価償却費の減
営業外費用	482,028	445,422	409,865	410,945	1,080	383,297	27,648	
特別損失	16,744	3,021	18,645	1,422	▲ 17,223	3,736	▲ 2,314	
純利益	1,153,842	1,171,626	1,270,430	1,053,341	▲ 217,089	489,487	563,854	※R4戦略差: 費用圧縮により増益

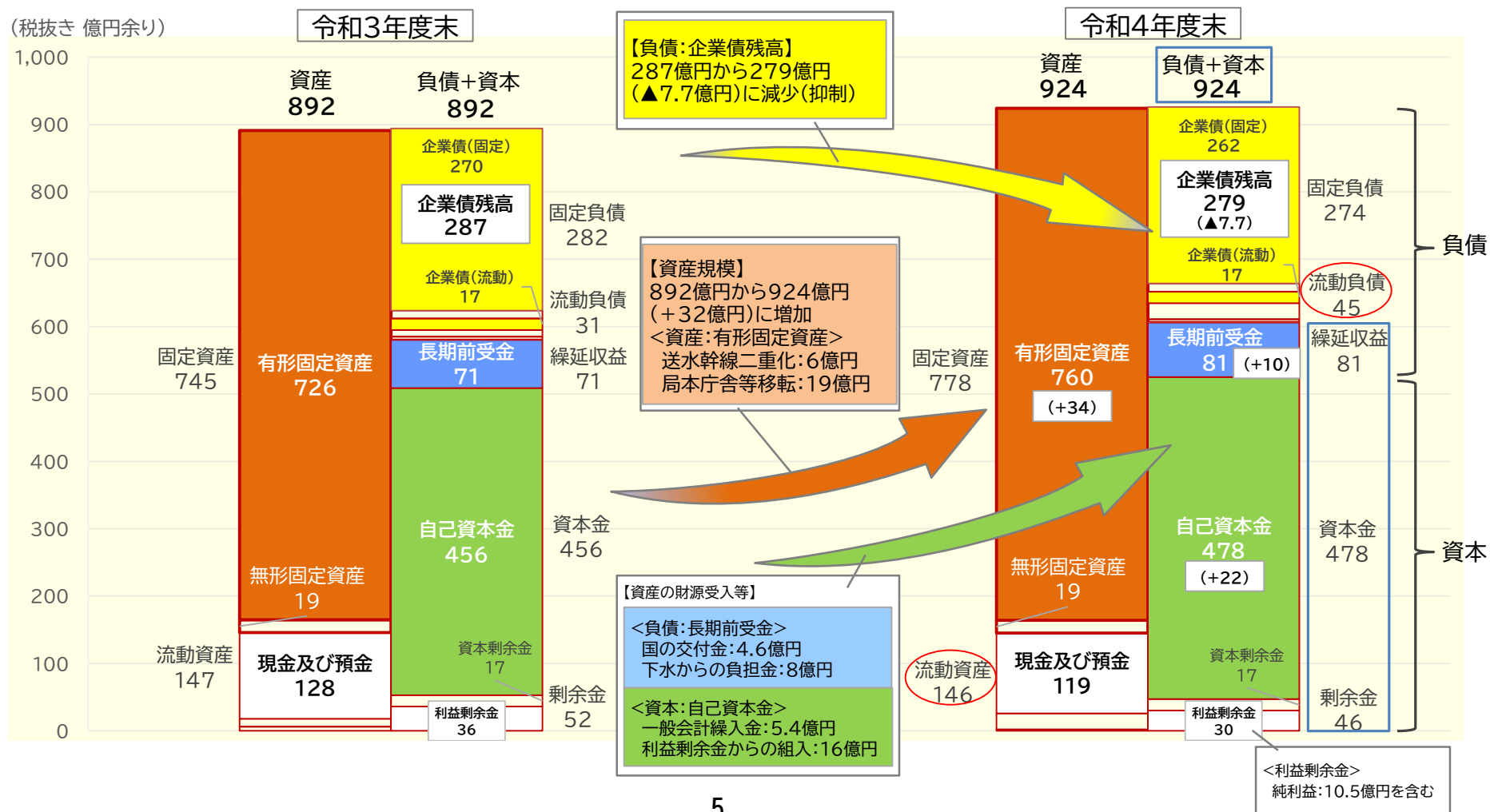
水道事業の決算状況等

貸借対照表について

貸借対照表からは、表の左側(借方)の「資産」と、その元手などの右側(貸方)「負債・資本」から財政状態を分析できます。

流動比率 ⇒ $\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}} = 324\%$ ※短期的な債務に対する支払能力, 100%以上が必要

自己資本(構成)比率 ⇒ $\frac{(\text{資本金} + \text{剰余金} + \text{繰延収益})}{\text{負債・資本合計}} = 65\%$ ※返済不要分の比率, 高いほど経営の安全性大
概ね健全な財政状態です。



水道事業の決算状況等

経営指標について

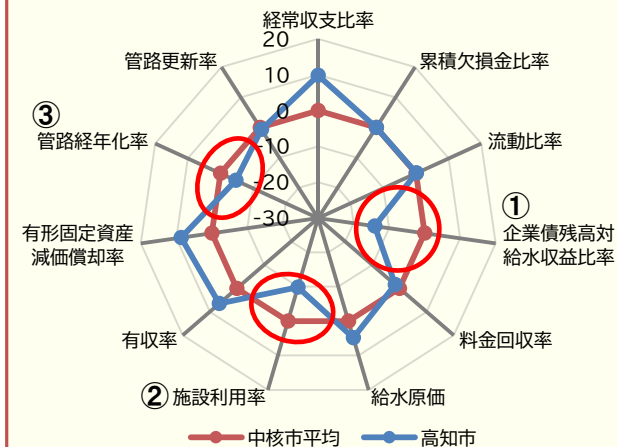
「経営の健全性・効率性」では、概ね中核市平均より良好な数値

⇒ **概ね経営の健全性や効率性が確保できています。**

「老朽化の状況」では、中核市平均よりも「管路経年化率」が高くなっています。

項 目	算 出 式	令和4年度 決算A	R4中核市 平均C	平均差 A-C	備 考
経営の健全性・効率性	経常収支比率(%) $\frac{\text{経常収益}}{\text{経常費用}} \times 100$	119.2	112.0	7.2	※減免なしの場合118.1%
	累積欠損金比率(%) $\frac{\text{当年度未処理欠損金}}{\text{営業収益}-\text{受託工事収益}} \times 100$	0.0	0.0	0.0	
	流動比率(%) $\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}} \times 100$	323.6	321.3	2.3	
	企業債残高対給水収益比率(%) $\frac{\text{企業債現在高合計}}{\text{給水収益}} \times 100$	① 534.6	297.6	237.0	※減免なしの場合477.3%
	料金回収率(%) $\frac{\text{供給単価}}{\text{給水原価}} \times 100$	100.9	102.5	▲ 1.6	※減免なしの場合113.0%
	給水原価(円) $\frac{\text{経常費用}-(\text{受託工事費}+\text{材料及び不用品売却原価}+\text{附帯事業費})-\text{長期前受金戻入}}{\text{年間総有収水量}} \times 100$	149.4	164.0	▲ 14.6	
	施設利用率(%) $\frac{\text{一日平均配水量}}{\text{一日配水能力}} \times 100$	② 51.7	62.9	▲ 11.2	
	有収率(%) $\frac{\text{年間総有収水量}}{\text{年間総配水量}} \times 100$	93.7	90.8	2.9	
	有形固定資産減価償却率(%) $\frac{\text{有形固定資産減価償却累計額}}{\text{有形固定資産のうち償却対象資産の帳簿原価}} \times 100$	48.2	52.3	▲ 4.1	
	管路経年化率(%) $\frac{\text{法定耐用年数を経過した管路延長}}{\text{管路延長}} \times 100$	③ 31.8	27.7	4.1	
老朽化の状況	管路更新率(%) $\frac{\text{当該年度に更新した管路延長}}{\text{管路延長}} \times 100$	0.7	0.7	0.0	

【レーダーチャート】※中核市平均との比較



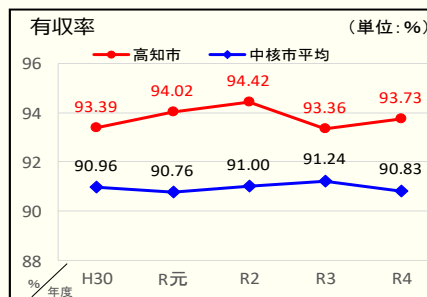
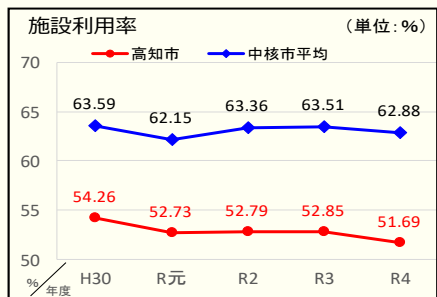
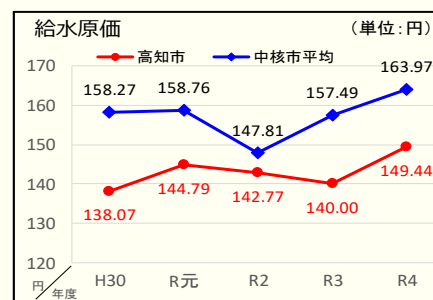
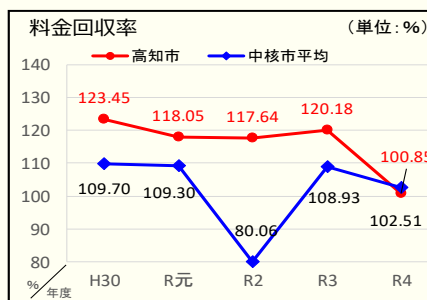
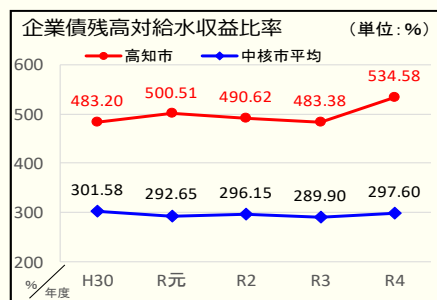
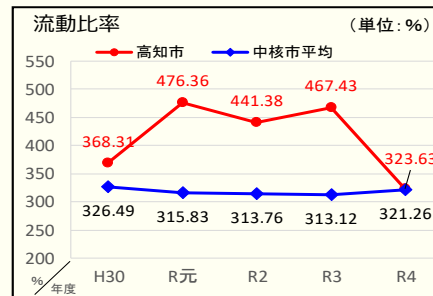
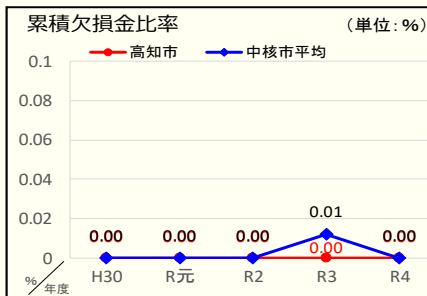
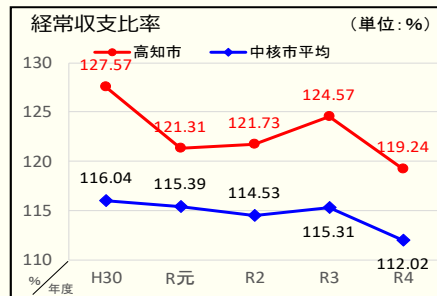
【目指すべき方向性】

- ①企業債残高の抑制による「企業債残高対給水収益比率」の低減
- ②非常時に備えた「予備力」を確保しながら、更新のタイミングで最適な施設能力に見直し
- ③アセットマネジメント(資産管理)推進計画に基づく適正な管路更新

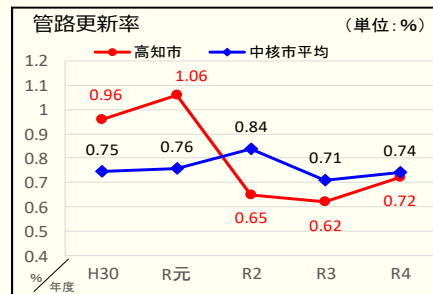
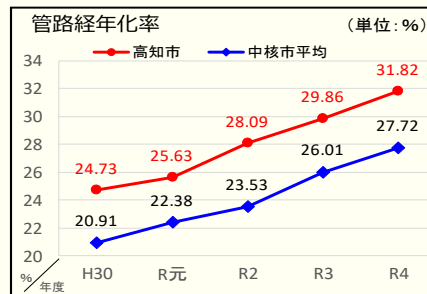
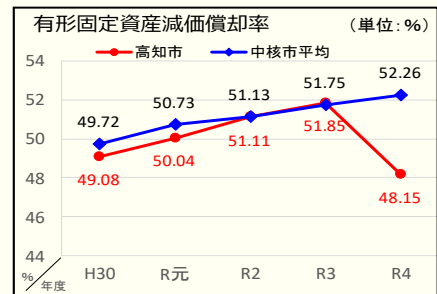
水道事業の決算状況等

経営指標について

経営の健全性・効率性



老朽化の状況

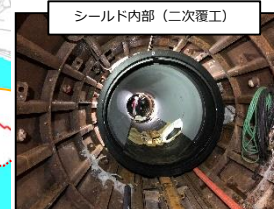
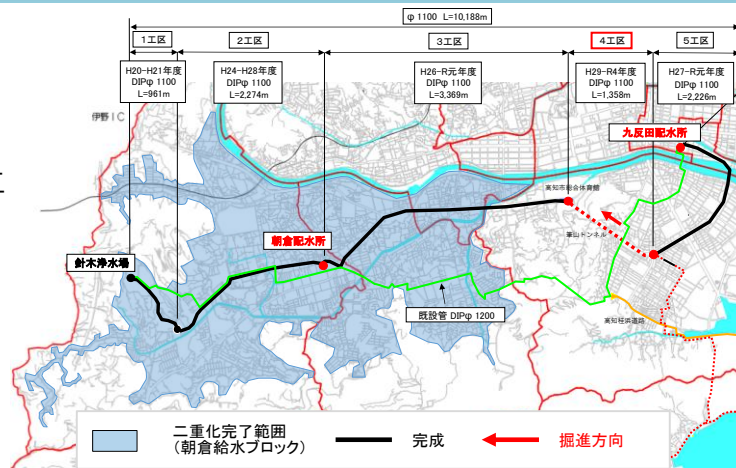


水道事業の主な事業

送水幹線二重化事業

南海トラフ地震や突発的な事故等に備え、針木浄水場から九反田配水所までの送水幹線のバックアップ機能の強化を図るもので、約10.2キロメートル区間を新たな耐震管で結び、送水幹線を二重化するもの。

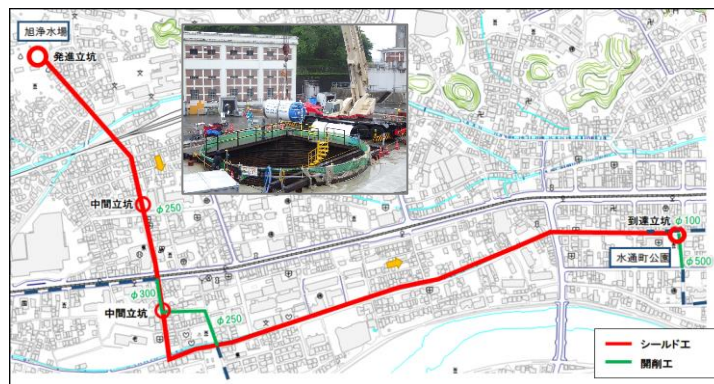
令和4年度は、最終工区となる小石木町から百石町四丁目までの4工区において、水道管の布設作業や試験通水を経て、令和4年8月から既設管と新設管の二系統による通水を開始している。



旭天神町～上町四丁目配水本管布設替事業

南海トラフ地震に備え、耐震性不足の水道管路を耐震管に布設替することにより、地震発生時においても断水被害を軽減し、災害に強い水道を目指すもの。

令和4年度は、シールドマシンによる掘進作業を進めた。



上下水道局本庁舎等移転整備事業

南海トラフ地震に伴う津波浸水や長期浸水による庁舎機能などの喪失を避けるため、長期浸水区域外へ庁舎移転することで、災害リスクを排除し、発災時の初動対応力の確保を図るもの。

令和4年度は、本庁舎等の建築工事や設備工事を完成させ、令和5年3月に庁舎移転を完了している。



本庁舎



資機材倉庫

公共下水道事業の決算状況等

経営戦略(汚水事業)における経営目標について

公共下水道事業における計画期間最終年度の令和13(2031)年度に目指すべき「経営目標」として、下の3点を定めています。

①純利益(黒字)の確保

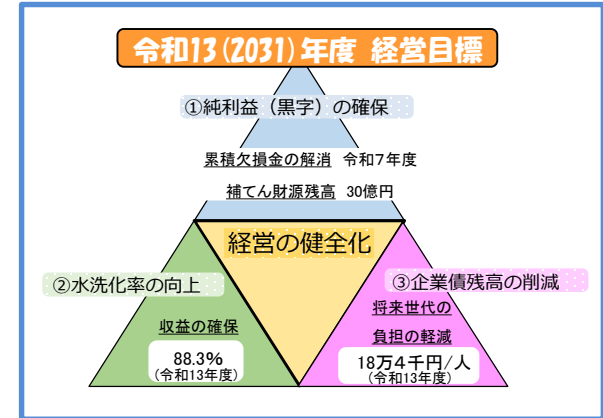
(累積欠損金の解消:令和7年度, 補てん財源残高:30億円)

②水洗化率の向上

(収益の確保:88.3%)

③企業債残高の削減

(将来世代の負担の軽減:水洗化人口1人当たり18万4千円)



令和4年度決算では、

①, ③の目標では達成ペース

②水洗化率の向上 ⇒ 前年度から0.3pt(450人)増加するも経営戦略(R4)との比較では未達

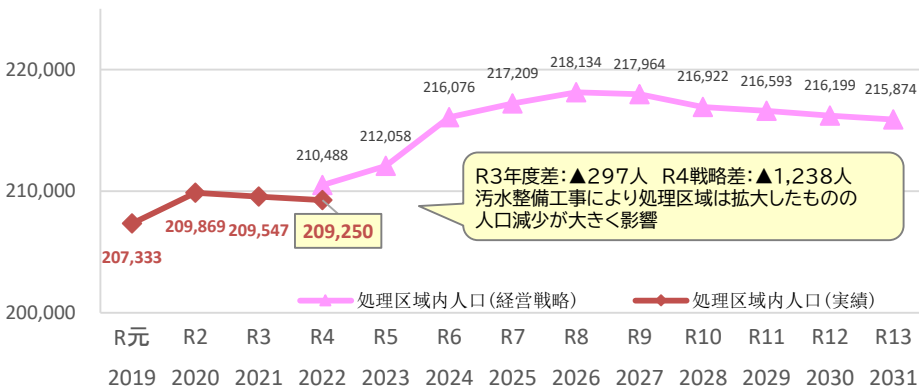
(消費税及び地方消費税抜き; 単位:千円)

経営目標	令和元年度 決算	令和2年度 決算	令和3年度 決算B	令和4年度 決算A	前年度差 A-B	令和4年度 経営戦略C	戦略差 A-C	備考
純利益	359,878	454,800	803,118	890,416	87,298	856,343	34,073	
うち汚水分	170,787	141,605	388,731	① 362,468	▲ 26,263	246,432	116,036	※純利益を確保
累積欠損金 汚水分	▲ 1,389,141	▲ 1,247,536	▲ 858,805	▲ 496,337	362,468	▲ 650,977	154,640	※純利益により累積欠損金を減額
補てん財源残高 汚水分	993,047	1,594,795	2,303,311	2,835,414	532,103	2,092,776	742,638	
水洗化率口	84.9%	84.7%	85.0%	85.3%	② 0.3pt	85.9%	② -0.6pt	
水洗化人口(人)	175,981	177,711	178,015	178,465	450	180,742	▲ 2,277	
処理区域内人口口人)	207,333	209,869	209,547	209,250	▲ 297	210,488	▲ 1,238	
企業債残高 汚水分	36,705,050	36,957,800	36,838,710	37,238,154	399,444	38,712,612	▲ 1,474,458	
水洗化人口1人当たり	209	208	207	③ 209	2	214	③ ▲ 6	※R4戦略差ではマイナス6千円

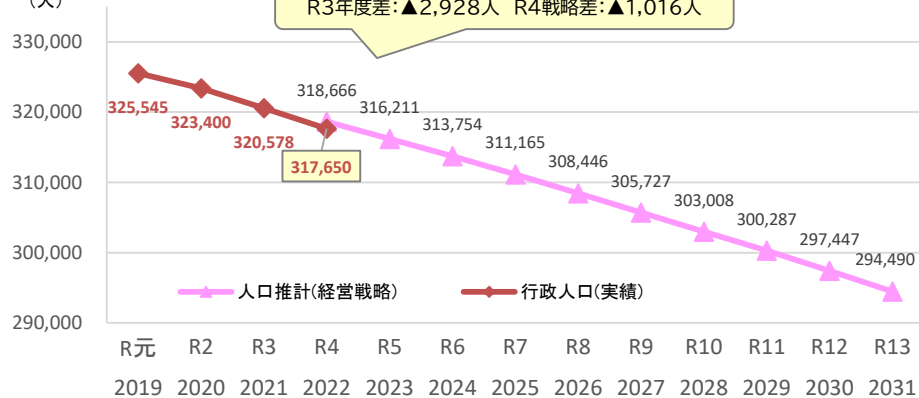
公共下水道事業の決算状況等

処理区域内人口等について

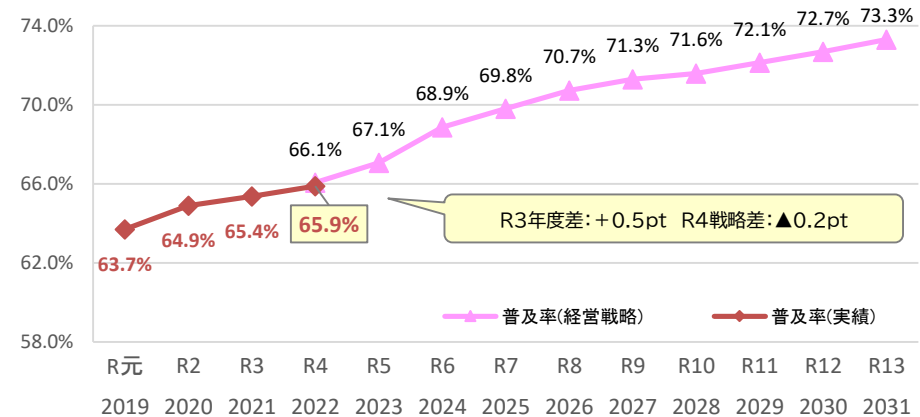
処理区域内人口 (※)下水処理が開始されている処理区域に居住する人口
(人)



行政人口
(人)

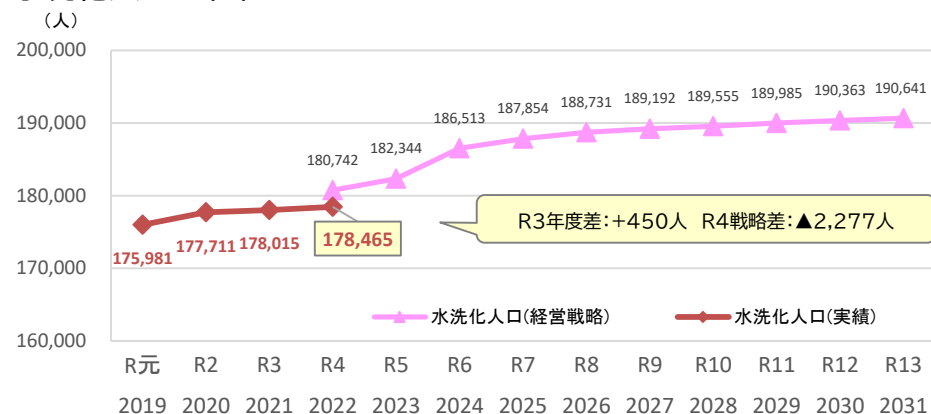


下水道普及率 (=処理区域内人口／行政人口×100)

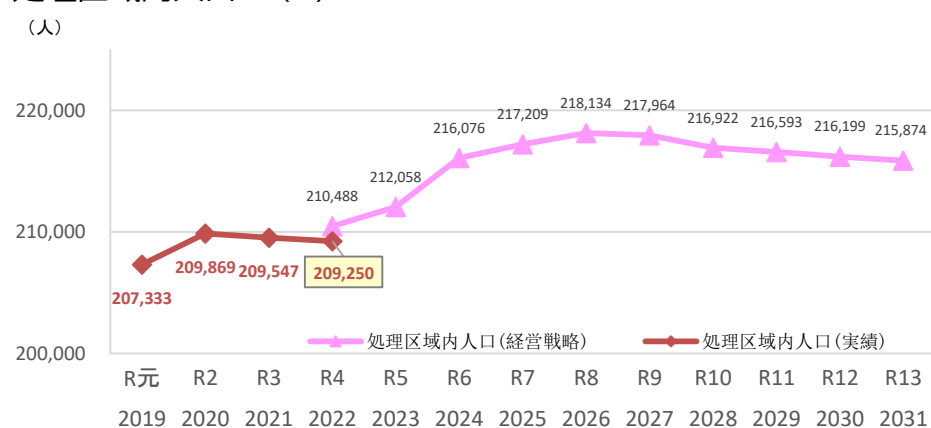


水洗化人口等について

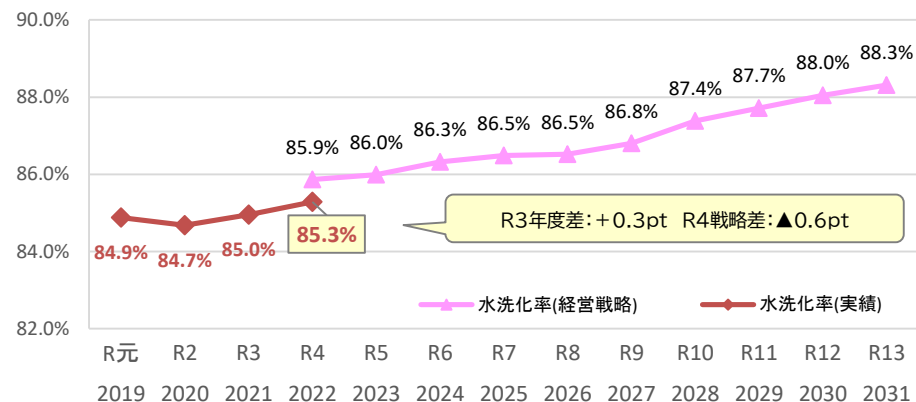
水洗化人口 (※)整備された下水道を使用している人口



処理区域内人口 (※)下水処理が開始されている処理区域に居住する人口



水洗化率 (=水洗化人口／処理区域内人口×100)



水洗化率の算定における水洗化人口と処理区域内人口について

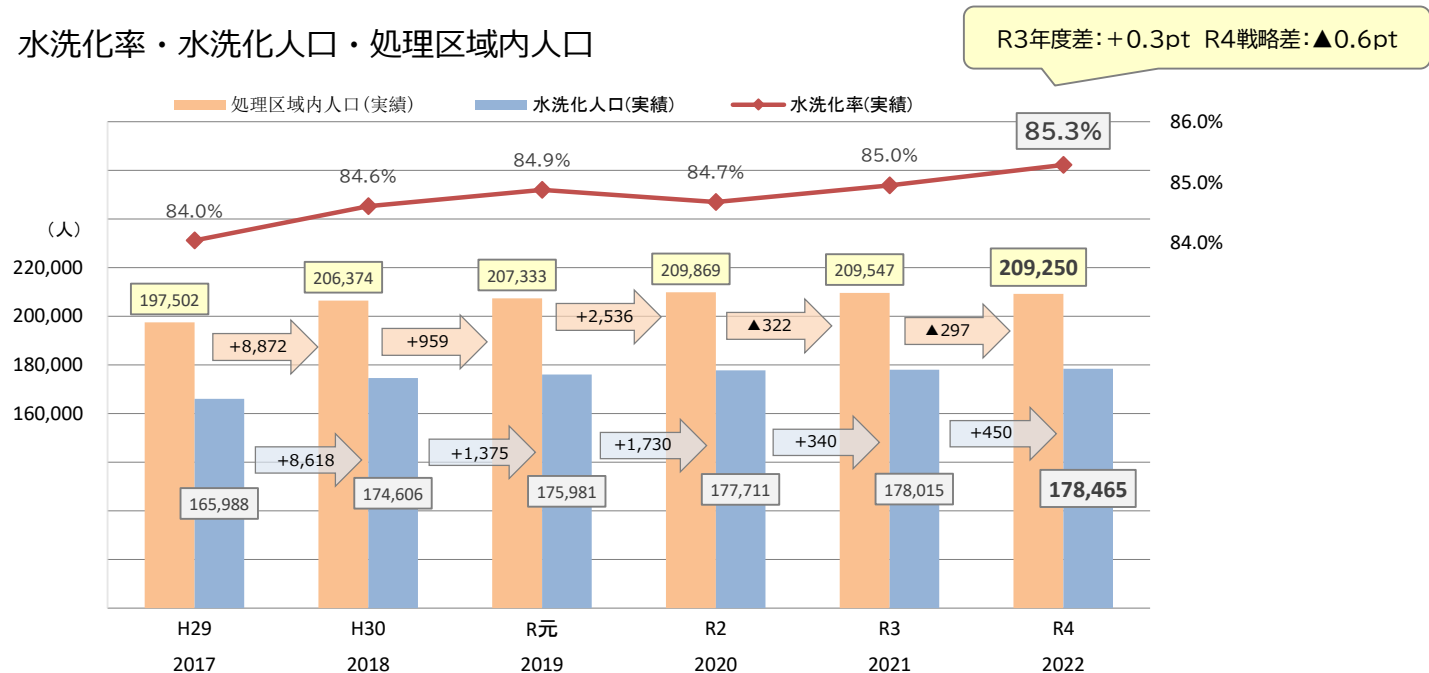
「水洗化率」＝「水洗化人口÷処理区域内人口×100」で算出します。

（下のグラフの令和元年度から令和2年度の動きのように、「水洗化人口」が増加しても、分母となる「処理区域内人口」がより増加すると、「水洗化率」が下がることもあります。）

令和4年度の「水洗化率」は、前年度からは0.3ポイント増となりましたが、汚水整備を進めていることもあり、経営戦略の令和4年度推計と比較すると0.6ポイント低くなっています。

収益確保の観点からも、「水洗化人口」の増加を最重要課題と位置づけ、町内会等への出前講座の開催や、グループ接続助成金制度等の取組により「水洗化率」の向上を図っていきます。

水洗化率・水洗化人口・処理区域内人口



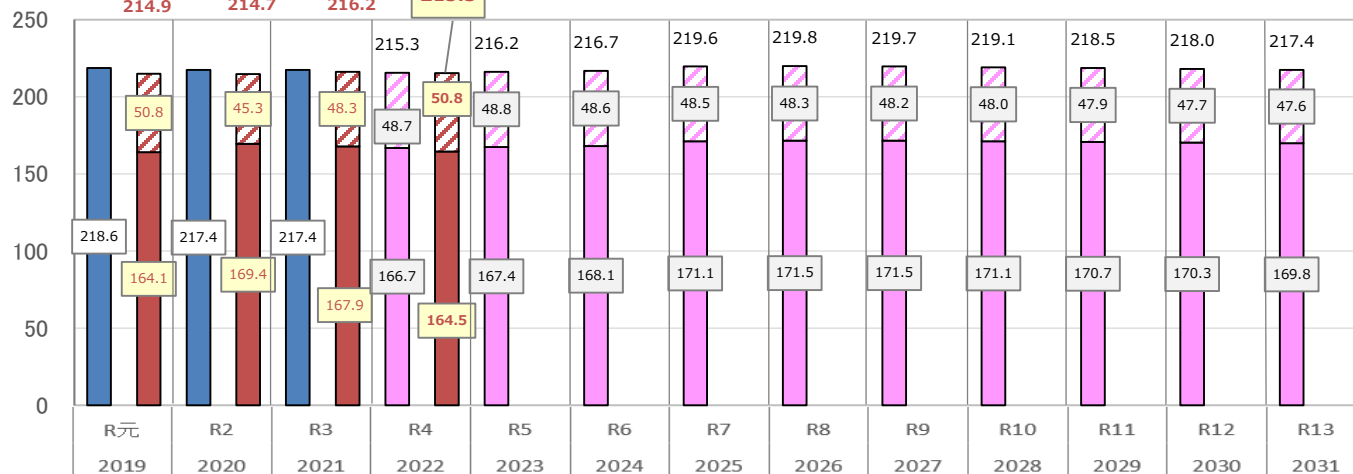
公共下水道事業の決算状況等

有収水量等について

有収水量

R3年度差:▲94,247m³ R4戦略差:▲5,523m³

(単位:十万m³)

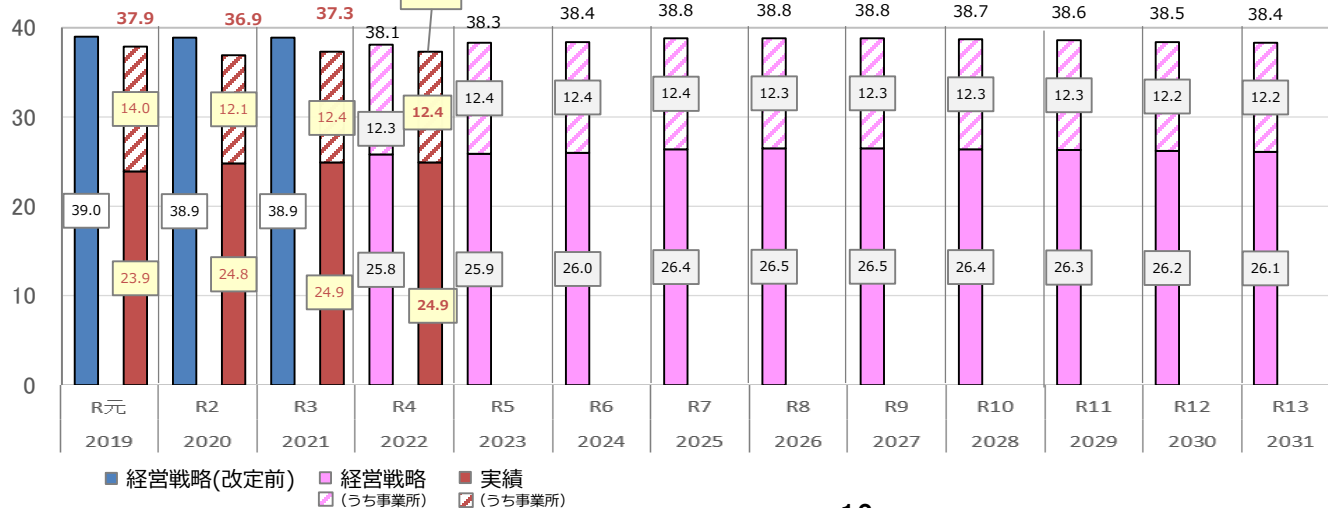


一般家庭では、水洗化人口の増加や新型コロナウイルス感染症の影響を受けて増加していた令和2年度・3年度を下回っている。
事業所等では国の緊急事態宣言等の影響を受けて減少していた令和2年度・3年度を上回っている。
(水洗化人口:令和4年度対前年比+450人)

下水道使用料

R3年度差:+6,651千円 R4戦略差:▲78,525千円

(単位:億円, 税抜き)



対前年で有収水量が減少するも、使用料単価の高い区分の事業所等での有収水量の増加などにより下水道使用料が増加

公共下水道事業の決算状況等

損益計算書について

単年度の経営状況を表す「損益計算書」では、

【前年度比較】

・純利益(汚水分)は、2,600万円余り減少するも、3億6,200万円余りの黒字を確保

【参考】

・経営戦略比較では純利益(汚水分)で、2億4,600万円余りの見通しに対し、1億1,600万円余りの増益

(消費税及び地方消費税抜き; 単位:千円)

	令和元年度 決算	令和2年度 決算	令和3年度 決算B	令和4年度 決算A	前年度差 A-B	令和4年度 経営戦略C	戦略差 A-C	備考
総収益	9,159,360	9,049,740	9,238,625	9,306,611	67,986	9,456,330	▲ 149,719	
営業収益	5,761,776	5,725,938	5,795,880	5,891,953	96,073	6,052,869	▲ 160,916	※R4戦略差:下水道使用料の減
営業外収益	3,377,124	3,323,697	3,440,995	3,413,162	▲ 27,833	3,403,370	9,792	
特別利益	20,460	105	1,750	1,496	▲ 254	91	1,405	
総費用	8,799,482	8,594,940	8,435,507	8,416,195	▲ 19,312	8,599,987	▲ 183,792	
営業費用	7,517,427	7,475,586	7,380,115	7,451,025	70,910	7,652,342	▲ 201,317	※R4戦略差:人件費,支払利息の減
営業外費用	1,214,776	1,117,863	1,037,147	964,677	▲ 72,470	943,100	21,577	
特別損失	67,279	1,491	18,245	493	▲ 17,752	4,545	▲ 4,052	
純利益	359,878	454,800	803,118	890,416	87,298	856,343	34,073	
うち汚水	170,787	141,605	388,731	362,468	▲ 26,263	246,432	116,036	※R4戦略差:費用圧縮により増益

公共下水道事業の決算状況等

貸借対照表について

貸借対照表からは、表の左側(借方)の「資産」と、その元手などの右側(貸方)「負債・資本」から財政状態を分析できます。

流動比率 ⇒ $\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}} = 76\%$ ※100%に満たない部分は主に一般会計繰入金で措置される部分

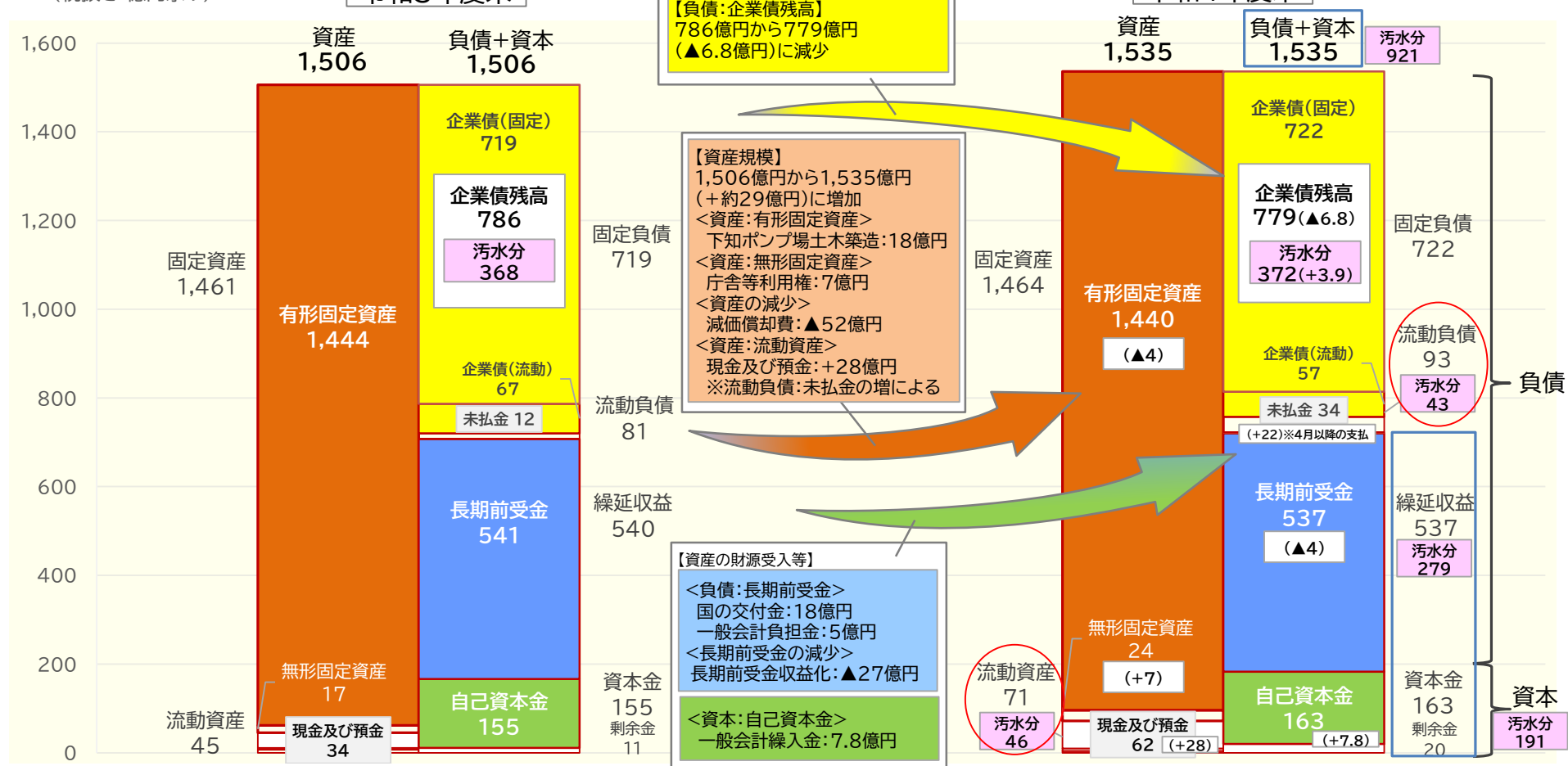
自己資本(構成)比率 ⇒ $\frac{(\text{資本金} + \text{剰余金} + \text{繰延収益})}{\text{負債・資本合計}} = 47\%$ ※返済不要分の比率, 高いほど経営の安全性大

公営企業として経営する汚水分の状態では、流動比率106%, 自己資本(構成)比率51% ⇒ 概ね健全な状態

(税抜き 億円余り)

令和3年度末

令和4年度末



公共下水道事業の決算状況等

経営指標について

「経営の健全性・効率性」では、「経常収支比率」、「経費回収率」、「施設利用率」は中核市平均より良好な数値で、その他の指標は概ね中核市平均より低くなっています。

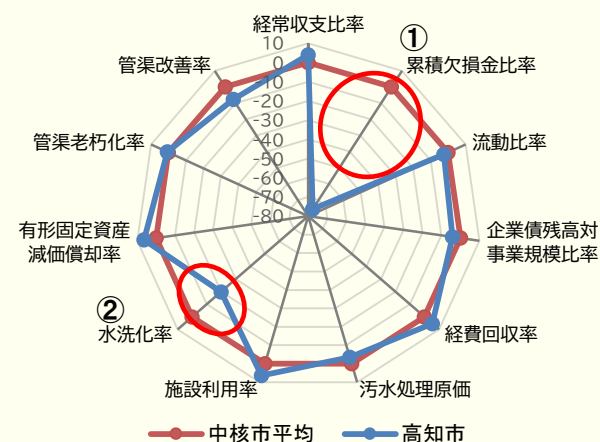
「水洗化率」は現在、汚水整備を進めていることもあり、中核市平均からすると10ポイントほど低くなっています。

収益確保の観点からも、水洗化人口の増加を最重要課題と位置づけ、水洗化率の向上を図っていきます。

「老朽化の状況」では、「管渠老朽化率」が中核市平均よりも良い数値で、「管渠改善率」は低い数値となっています。

項 目	算出式	令和4年度 決算A	R4中核市 平均C	平均差 A-C	備考
経営の健全性・効率性	経常収支比率 (%)	$\frac{\text{経常収益}}{\text{経常費用}} \times 100$	110.6	108.0	2.6
	累積欠損金比率 (%)	$\frac{\text{当年度未処理欠損金}}{\text{営業収益}-\text{受託工事収益}} \times 100$	① 110.9	2.3	108.6
	流動比率 (%)	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}} \times 100$	76.7	95.9	▲ 19.2
	企業債残高対事業規模比率 (%)	$\frac{\text{企業債現在高合計}-\text{一般会計負担額}}{\text{営業収益}-\text{受託工事収益}-\text{雨水処理負担金}} \times 100$	995.8	785.0	210.9
	経費回収率 (%)	$\frac{\text{下水道使用料}}{\text{汚水処理費(公費負担分を除く)}} \times 100$	110.3	102.8	7.5
	汚水処理原価(円)	$\frac{\text{汚水処理費(公費負担分を除く)}}{\text{年間総有収水量}} \times 100$	157.2	146.5	10.7
	施設利用率 (%)	$\frac{\text{晴天時一日平均処理水量}}{\text{晴天時現在処理能力}} \times 100$	68.0	47.6	20.4
	水洗化率 (%)	$\frac{\text{現在水洗便所設置済人口}}{\text{現在処理区域内人口}} \times 100$	② 85.3	94.8	▲ 9.5
	有形固定資産減価償却率 (%)	$\frac{\text{有形固定資産減価償却累計額}}{\text{有形固定資産のうち償却対象資産の帳簿原価}} \times 100$	26.8	35.3	▲ 8.5
	管渠老朽化率 (%)	$\frac{\text{法定耐用年数を経過した管渠延長}}{\text{下水道布設延長}} \times 100$	11.2	13.2	▲ 2.0
老朽化の状況	管渠改善率 (%)	$\frac{\text{改善(更新・改良・維持)管渠延長}}{\text{下水道布設延長}} \times 100$	0.03	0.17	▲ 0.1

【レーダーチャート】※中核市平均との比較



【目指すべき方向性】

①純利益(黒字)の確保による

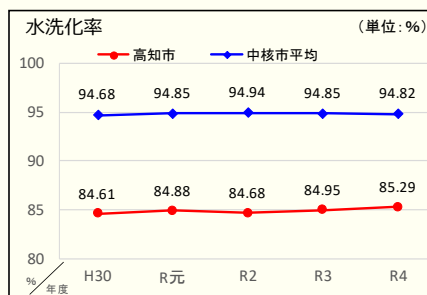
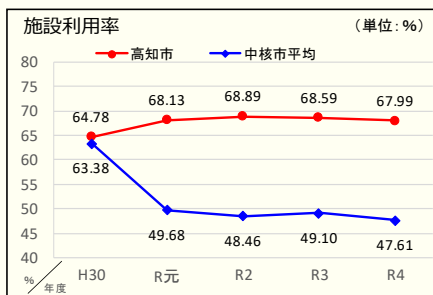
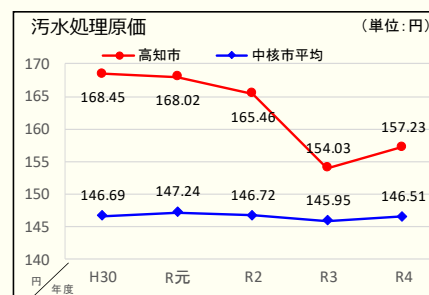
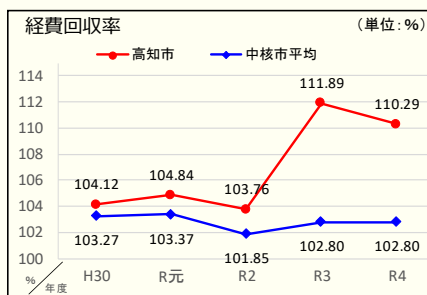
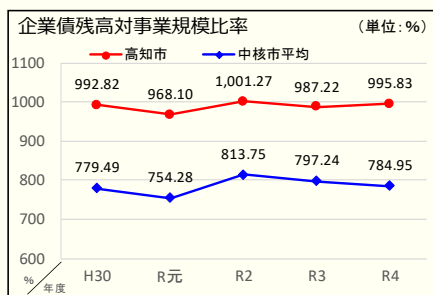
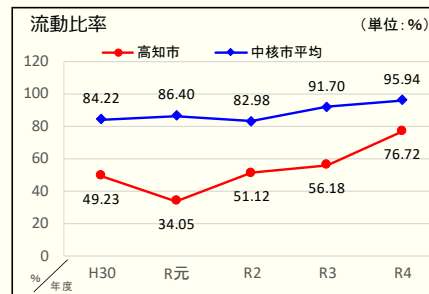
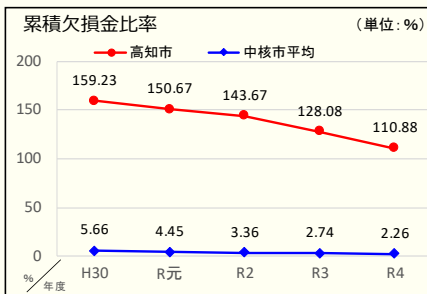
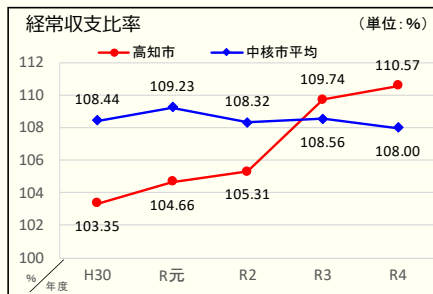
「累積欠損金比率」の解消

②町内会等への出前講座の開催や、グループ接続助成金制度等の取組など水洗化の促進による「水洗化率」の向上

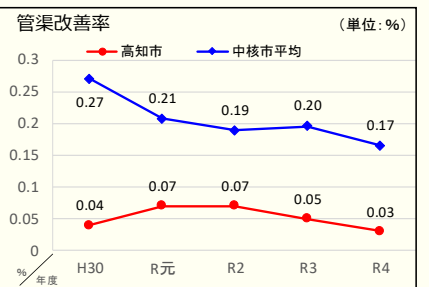
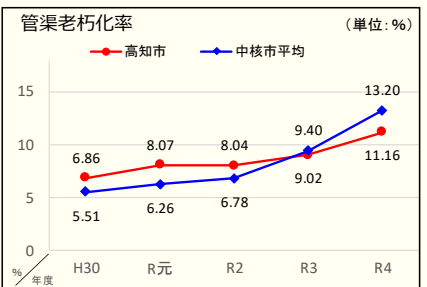
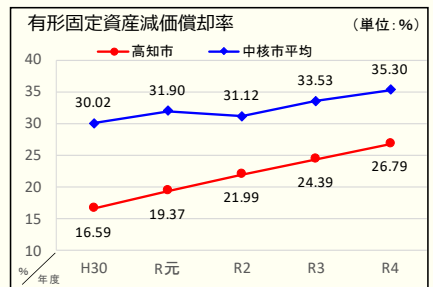
公共下水道事業の決算状況等

経営指標について

経営の健全性・効率性



老朽化の状況

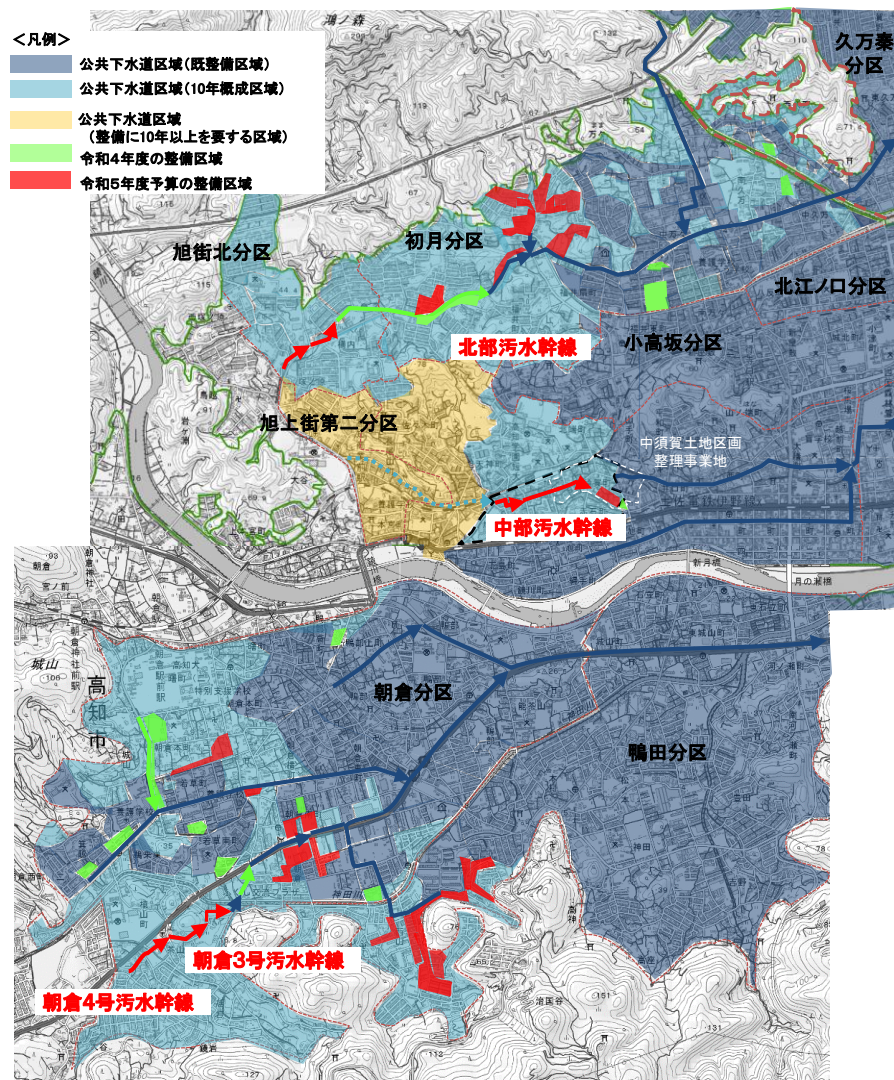


公共下水道事業（污水）の主な事業

污水整備事業

初月地区の污水を受ける北部污水幹線を867m、朝倉地区の污水を受ける朝倉1号污水幹線を507m、朝倉3号污水幹線を233m整備するとともに、初月・朝倉地区を中心に23.74haの面的整備を行った。

○下水道整備計画図 【下知・潮江処理区】



水洗化率の向上

人口減少の影響が大きく、前年度に引き続き処理区域内人口が減少となったが、町内会等へ出前講座の開催や、グループ接続助成金制度等の取組の効果により、水洗化率（水洗化人口を処理区域内人口で除した割合）は前年度比で0.3ポイント増の85.3%となった。

	R2	R3	R4	R3-R2	R4-R3
行政人口(人)	323,400	320,578	317,650	▲ 2,822	▲ 2,928
処理区域内人口(人)	209,869	209,547	209,250	▲ 322	▲ 297
水洗化人口(人)	177,711	178,015	178,465	304	450
普及率	64.9%	65.4%	65.9%	0.5	0.5
水洗化率	84.7%	85.0%	85.3%	0.3	0.3

▼町内会での出前講座の様子



